

《担当者名》下山 美由紀 m\_shimoyama@hoku-iryō-u.ac.jp

【概要】

1. 介護福祉士として実践するために、多様な介護現場での利用者の生活の安全を守るべくセーフティマネジメントを展開するための基礎的な力を培う。利用者の安全を守ることは、介護従事者自らの健康や安全が保障されるべきであることへの認識を深め、介護における安全を確保するための知識・技術、事故防止や安全対策、感染対策、緊急時対応、介護従事者の健康管理などについて学ぶ。
2. 介護実践する上で必要な管理的側面について、働く施設そのものの管理とは何か、施設で働く組織人としての管理とは何かを学ぶとともに、福祉・医療チームにおける介護福祉士の役割と倫理性のあるケアに繋げる感性を醸成する。

【学修目標】

1. セーフティマネジメントの基礎力と技術を習得し、介護専門職として、利用者の安全な生活を支える質の高い介護ケアへ繋がっていくような意識づけができる。
2. 介護従事者として、自己の健康管理に必要な知識と技術を習得する。
3. 介護実践者として管理的側面について学ぶとともに、組織で働く上での管理について理解できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	この科目の概要と学習目標、学習内容、スケジュールなどについて理解する。ゲーム形式で行うチームワーク力を試す。(グループ演習)	下山
2	介護施設における組織	組織とは何か組織、組織に関する基本知識である組織の構成・組織理念・組織分析等について理解できる。	下山
3	介護施設における組織	理想の組織を創る。(グループ演習)	下山
4	介護サービス	サービスとは何か、サービスの本質、CS(利用者と家族の満足度)及び職員の満足度についてを学び、理解できる。	下山
5	介護サービス	介護サービスと職業倫理の関連性について学ぶ、倫理意識がもてる。 ディズニーランドなどのサービスに学ぶ。	下山
6	介護現場の倫理	倫理についての知識と介護現場で必要な倫理意識を高めるために事例等を通して、倫理観について説明できる。	下山
7	介護職の人材管理	新人職員の教育、フォローアップについて学ぶ。 自分はこういう教育を受けたい。(グループ演習)	下山
8	介護職の人材管理	OJT、OFF-JTなどの継続教育と専門職としてのキャリア開発について知る。 リーダーシップについて理解する。 自分のキャリア開発について、将来を見据えることができる。	下山
9	介護職の人材管理	理想のスタッフ、理想の上司について具体的に考える。(グループ演習)	下山
10	介護実践マネジメント	介護業務体制、勤務体制、介護記録等のシステムについて知り、介護実践業務をマネジメントするイメージができる(「記録管理システム」の紹介)	下山
11	チームマネジメント	施設内で働く職種の役割と連携、利用者を中心としたチーム介護について理解する。 多職種連携の実際を知り、あり方を考察する。(施設内及び地域における連携の事例から)	下山
12	介護職の労働管理(労基法)	労働する上での法律について知り、介護職員としての多様な働き方について理解し、自分の将来の働き方の	下山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		イメージができる。	
13	介護施設の運営	介護施設における運営について学ぶ。 ・施設運営に当たるマネジメント ・施設職員としての社会貢献 ・施設における改革と改善	下山
14	介護施設の運営	介護施設の役割について学び、具体的な役割を見出すことができる。(グループ演習) ・地域共生としての役割 ・地域に根ざした施設のあり方 ・ボランティアの受け入れ	下山
15	地域包括ケアシステムにおける介護職の役割	地域包括ケアシステムの構築と実現に向けて、介護職が行う役割について理解し、具現化するために何をすべきか考える。	下山
16	介護における安全の確保とリスクマネジメント(1) 介護における安全の確保	訴訟等の事例を用い、介護事故と法的責任について学び、介護における安全の意義とリスクマネジメントについて理解することができる。	下山
17	介護における安全の確保とリスクマネジメント(2) 介護における安全の確保	危険予知と危険回避(観察、正確な技術、予測、分析、対策等)について事例をもとに学ぶ。	下山
18	介護における安全の確保とリスクマネジメント(3) 事故防止、安全対策	ヒヤリハット、セーフティマネジメントについて理解することができる。	下山
19	介護における安全の確保とリスクマネジメント(4) 事故防止、安全対策	防火・防犯対策と訓練について事例を使用し学ぶことにより理解することができる。	下山
20	介護における安全の確保とリスクマネジメント(5) 事故防止、安全対策	在宅における介護に関連する事故と安全対策について理解する。	下山
21	介護における安全の確保とリスクマネジメント(6) 事故防止、安全対策	災害時の安全対策を学び、災害対策について考える。(グループ演習)	下山
22	介護における安全の確保とリスクマネジメント(7) 事故防止、安全対策	利用者の生活の安全について理解することができる。	下山
23	介護における安全の確保とリスクマネジメント(8) 感染予防対策	感染予防の意識と、基礎知識、技術について理解することができる。 感染症対策について理解することができる。	下山
24	介護における安全の確保とリスクマネジメント(9) 薬剤の取り扱いに関する基礎知識と連携	薬剤耐性の知識、安全な薬物療法を支える視点、連携について理解することができる。	下山
25	介護従事者の安全(1) 介護従事者を守る団体と法制度	労働基準法と労働安全法について理解することができる。	下山
26	介護従事者の安全(2) 介護従事者を守る環境整備	労働安全と環境整備、労働災害について理解することができる。	下山
27	介護従事者の安全(3) 介護従事者を守る環境整備	作業環境のアセスメントと工夫について理解することができる。 労働組合について理解することができる。	下山
28	介護従事者の安全(4) 介護従事者の心身の健康管理	介護従事者の健康管理の意義を理解することができる。	下山
29	介護従事者の安全(5) 介護従事者の心身の健康管理	心身の健康管理について理解することができる。 腰痛予防、ストレスチェック等	下山
30	まとめ	この科目の授業の振り返りとまとめ	下山

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート80% グループワークと演習20%

**【教科書】**

なし

**【参考書】**

授業時に必要な資料等をプリントで配布する。

**【備考】**

この科目は、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「介護の基本」に該当する。

**【学修の準備】**

予習は、新聞・ニュースなどによく目を通し、介護問題について理解しておくこと（30分）。

復習は、講義を受けて視点を変えて社会の事象を考え、理解すること（30分）。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,1,4

**【実務経験】**

看護師

**【実務経験を活かした教育内容】**

臨床などでの実務経験を活かし、介護職の役割や実践、チームマネジメント・リスクマネジメントなど実践的な教育を行う。